

# 教育民生委員会

議案第1号 令和3年度鯖江市一般会計予算

## 『保育士修学資金貸付制度』の事業効果は？

**説明** 市内における保育士の確保を図るため、保育士の資格を取得し、将来、市内保育所等で保育士業務に従事しようとする者に、修学資金を貸し付け、5年間市内の保育所等で保育業務に従事すれば、償還を免除するものである。

**問** 事業が始まって数年経過するが、貸付金を借り、市内の保育所等に就職した実績はあるのか。

**答** 貸付を受けた者のうち、本年3月初めて3名が卒業する。3名とも、市内民間保育所への採用が決まっている。

修学資金貸付制度が、保育士の確保に、一定の効果を発揮したと考えている。



保育士確保は、子育て支援における課題

議案第1号 令和3年度鯖江市一般会計予算

## 8月に開催されるインターハイ、鯖江市ではなぜアーチェリー？

**問** 鯖江市というと、体操やなぎなたのほうがいいと思うが、なぜアーチェリー競技が開催されることになったのか。

**答** 県内で体操競技が実施されるなら、鯖江市で開催されると思っていたが、体操競技は今回、新潟県で開催されることとなった。

福井県でも多くの種目が開催されるが、丹南高校アーチェリー部は、学校開設とともに創部された長い歴史を持ち、多くの実績を残す強豪校となっている。有望選手がいることや、練習環境が整っていることから、県の高等学校体育連盟からアーチェリー競技開催の要請があり、丹南高校と統合された新・鯖江高校にも新入部員がいると聞いており、アーチェリー競技の振興のためにもなればと思い、引き受けた。



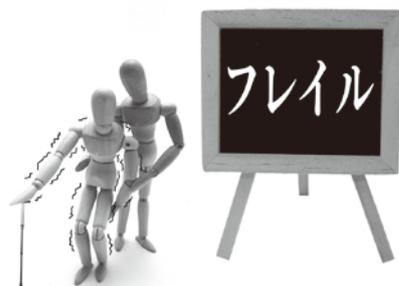
8月のインターハイ時、鯖江市で開催されるアーチェリー競技

議案第4号

令和3年度鯖江市介護保険事業特別会計予算

## 介護予防普及啓発事業、効果は？

**問** この事業では以前から、いきいき講座の開催やフレイル予防活動を行っているが、この活動により、要介護度が重度化しなかったという結果は出ているのか。



介護度の重度化は、予防できる！

**答** 令和2年9月末現在の資料によれば、市・県・国の要介護認定率は、鯖江市が15.8%、県が17.6%、国が18.6%となっており、鯖江市の要介護認定率は低い傾向にある。

このことは、市が介護予防普及啓発事業に積極的に取り組んでいることの成果と捉えており、要介護度の重度化を防ぐ効果の表れであると考えている。

### フレイルとは・・・

加齢とともに運動機能や認知機能が低下してきた状態。要介護に至る前の状態と位置づけられる。